

SDGs達成に向けた札幌宣言の実行

- 小島嶼国の持続可能な発展への化学工学の貢献 -

2022年9月16日(金) 13:00~17:00



化学工学会は、2019年9月APCChE 2019において『国連持続可能な開発目標（SDGs）に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—』と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進へ貢献することを第一の目的としています。

本シンポジウムでは、小島嶼開発途上国（SIDS）が直面する課題に着目し、化学工学会内に蓄積してきた豊富な知の活用とこれまでSIDSでの技術開発に携わってきた他分野の知や取り組みとの融合による課題解決の道を探ります。具体的には、学会内外の多様な視点からの講演に続けて、パネルディスカッションおよび参加者の皆さんにも加わっていただいでる参加型のグループ討議を実施し、今後の共同の可能性を議論します。

招待講演 「大洋州地域におけるJICAによる国際協力の取組みについて」
(国際協力機構) ○天池 麻由美氏

招待講演 「種子島におけるCo-learningによる人と知の循環」
(鹿大工) ○佐藤 南帆 (鳥環大環) 下江 信之介 (芝浦工大工) ○谷田川 ルミ・栗島 英明 (千葉大社) 倉阪 秀史・宮崎 文彦 (東大未来ビ) ○尾下 優子 (東大未来ビ/東大総括プロ/東大院工) (正・修習) 菊池 康紀

招待講演 「屋久島の水力発電とまちづくり」
(屋久島町観光まちづくり課) ○岩川 健 (屋久島電工) 宮田 昇・○松竹 忠祐

パネル討論

招待講演の講演者ならびにアジア太平洋化学工学連合会議 (APCChE2022) での国際共同ワーク発表学生2名が登壇します

参加型グループ討議

5つのグループ(Gr.1~3は各講演, Gr.4はAPCChE2022, Gr.5は地域連携がテーマ)にわかれ、オンラインでディスカッションを行います。ぜひご参加ください。

サマリー・交流会

主催：戦略推進センター SDGs検討委員会

共催：システム・情報・シミュレーション部会、エネルギー部会
地域連携カーボンニュートラル推進委員会

協賛：日本化学工業協会、新化学技術推進協会
東京大学海洋アライアンス連携研究機構

後援：国際連合工業開発機関(UNIDO)、日本学術会議

札幌宣言はこちらから

<https://www.sdgs.scej.org/sapporo/sengen-ja/>

scan me!

